

# 晴天の心



秋季大祭 10月19日(日) 午前10時～  
婦人会例会 10月9日(木) 午前10時～

10 月は、立教の元一日。

「我は元の神・実の神である。この屋敷にいんねんあり。このたび、世界一れつをたすけるために天降だった。みきを神のやしろに貰もらい受けたい」

これは親神・天理王命が、私たち人間に対して発せられた最初のお言葉で、「立教のご宣言」といわれているものです。

この短い一節に、親神様の神格、元のいんねん、立教の大目的、教祖（おやさま）のお立場が凝縮して述べられています。また、おふでさきでは、

「月日（親神のこと）には人間はじめかけたのは、陽気遊山が見たいゆえから」と、神様は人間が陽気ぐらしするのを見て、神も共に楽しみたい、そのために人間とこの世界を創ったことを告げられています。立教から 189 年。いろいろな歩みがありました。

どんなに年月を経て世界や法律や人や組織が変化しようとも、親神様・おやさまの思いはこの立教宣言から変わらない。苦しめるために創られたのではない。そのことをこころに留めながら 10 月の本部祭典に参拝しましょう。

「人間始めた元のやしき」  
人間始めた元のやしき、  
これは日日諭して居る。又人間始め  
親里々々、皆連れ帰る。

今日の  
おやのことば



おさしづ 明治32年2月2日

もう何年も前のことですが、家の外で遊んでいた娘が突然に飛び付いてきました。「おとうさん！

『わたし』は『わたし』なんだよね」と泣き出しそうな顔で訴えています。話を聞いてみると、お兄ちゃんと「ごっこ遊び」をしていて、自分が誰だか分からなくなったようです。多分、アニメのキャラクターになりきって遊んでいたのでしょう。「おまえは〇〇だ！」と呼び合ううちに混乱し、不安になったようです。

早速、娘を抱きかかえて言いました。「それは、お父さんが一番よく知っているよ。おまえが生まれたときはお母さんのそばに居たし、生まれてすぐに抱き上げた。おまえに名前を付けたのは、パパだよ」。こう聞くと安心したのか、また笑顔になって遊び始めました。

生まれたときから子供の姿を見ている者にとって、「その子」が「その子」であることは当然のことです。しかし、当事者である子供にとっては、これは決して当たり前のことではない。誕生

の瞬間から見守っている誰かに伝えられて、初めて「自分」が「自分」と確認することができるのです。

「人間始めた元のやしき、これは日日諭して居る」

この世界の始めから親神様は、一人一人の人間を見守り育てられました。そして、教祖を通して、あるべき人間の真実の姿を伝えてくださいました。「自分」を見失った子供が親への信頼によって「自分」を取り戻すことができるように、私たちも教祖を通して、これまで知ることのなかった真の「自分」に出会うことができます。教祖の教えを真実であると信じるとき、初めて見失っていた本来の「自分」を取り戻すことが可能になるのです。

かなり長文で難解ですので、掲載は致しません。普通に読むとなんのことやらまったく理解できないと思うからです。おさしづから引用されるとき、かなり長文の中から、とある一節に着目して体験したと重ね合わせて、わかりやすくと言われることが多い。

ただ、よく読むとこのことだけをおさしづ自体は、伝え残そうとしているのではなく実はあくまでもそのための一例に過ぎないことがわかります。

特に長文のおさしづの場合は、読む方の心の状態によって受け取れる言葉が違ふと思います。それはきっとその人がいま神様から受け取りたい言葉になるのかもしれませんが。

．．．

#### 付属建物屋根外壁修理塗装その後

9月2日より足場が組まれて翌日から作業が行われています。



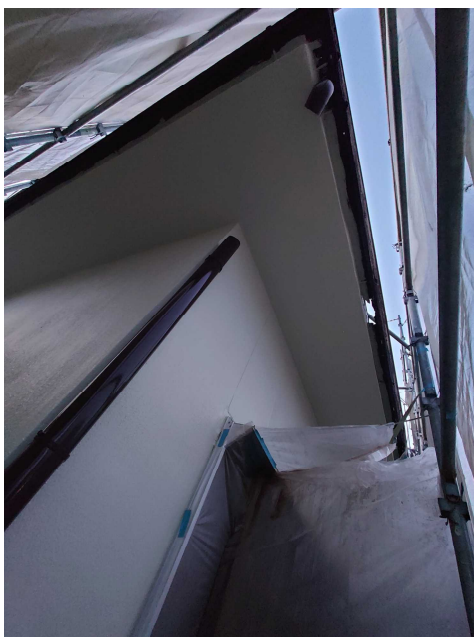
工事にかかる前に剪定をしてもらったので、植木もすっきり草刈りもしやすくなりました。また、建物周辺にあったタイヤなども全て廃棄処分を行ってリサイクル費用はかかりましたが、整理がかなり進みました。  
←剪定された植木と組み上げられた足場↓



塗装前に高圧洗浄を行われたのですが、井戸水で水量と水圧が低くちょっと難儀しましたが、なんとかかなりました。しかし、ほぼ丸1日使った作業でしたが、井戸水は尽きることなく沸いてくれたことに感謝です。これが水道水であったならと考えるとぞっとする量です。



←洗浄してむき出しになった軒と樋



1階の軒の修理は完了し塗装も完了。樋はこれから。

19日で塗装はほぼ終了しそう。この後2階の軒と樋。バルコニーの防水と続きます。

暑い中の作業、特に炎天下晴天の日は大変。でも雨では作業が出来ない。あと半月、事故無くすすみますように。

## 南河内支部 3 組旅行会 琵琶湖半周旅行

3 組では有志 7 名の方が旅行会として毎月 1000 円を積立、3 年間貯めて期の代わりの頃に旅行に出かけることになっています。なぜか計画、日程調整、運転手、現地ガイドなど、楽しみながらしていますが、今年は日程がずれにずれて 8 月 30 日 31 日に琵琶湖半周に出かけました。集合は、富石分教会。当初 5 名の参加予定でしたが、諸事情から 3 名で出かけることになりました。

### 当初旅程表

実際には、白鬚神社の後で、箱館山ゴンドラで山頂へ伊吹山は翌日に

| 目的地         | コメント・備考                                                                                                                          |          |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 集合 富石分教会    | 9時集合・出発                                                                                                                          |          |
| 琵琶湖博物館（雨天時） | 雨天時                                                                                                                              |          |
| 水の森水生植物園    | 蓮と睡蓮の植物園                                                                                                                         | 昼食       |
| 白鬚神社        | 琵琶湖の中に立つ湖中大鳥居が有名                                                                                                                 |          |
| メタセコイヤ並木    | 農業公園マキノピックランドを縦貫する県道小荒路牧野沢線には、延長約2.4kmにわたりメタセコイヤが約500本植えられ、マキノ高原へのアプローチ道として高原らしい景観を形成しています                                       |          |
| 湖北水鳥ステーション  | 冬場は渡り鳥を観察できます                                                                                                                    |          |
| 伊吹山山頂晴天時    | 晴れていれば琵琶湖を一望。                                                                                                                    | 晴天時      |
| 黒壁スクエア周辺散策  | 雨天時 状況によってはホテルへ                                                                                                                  |          |
| メルキューレ琵琶湖   | 朝夕食ラウンジ・温泉                                                                                                                       | 宿泊 4人1部屋 |
| 黒壁スクエア      | 北国街道沿いに続く古い街並の一角にある総称「黒壁スクエア」。明治時代から黒壁銀行の愛称で親しまれた古い銀行を改装した「黒壁ガラス館」を中心に、ガラスショップや工房、ギャラリー、体験教室、レストランやカフェなど魅力あふれるお店が、古い街並の中に点在しています |          |
| 多賀大社        | 祭神 伊邪那岐大神（いざなぎのおおかみ）<br>伊邪那美大神（いざなみのおおかみ）                                                                                        |          |
| 豊郷小学校群      | 歴史的建造物として認知されている旧校舎の存在やそれを取り巻く保存活動、さらには旧校舎がアニメの舞台とされた                                                                            |          |
| 安土城天守閣      | 復元された金の茶室が見事                                                                                                                     | 昼食       |
| 八幡堀         | 近江八幡の象徴的な場所、天気がよければロープウェイで山頂へ                                                                                                    |          |
| 解散 富石分教会    | 17時頃予定                                                                                                                           |          |



2 日目の黒壁スクエアの散策の代わりに伊吹山ドライブウェイへ、多賀大社と近江八幡をカットして帰会。

参加された方は、もうきつとといったことのある場所ばかりだろうと思っていたのですが、全てはじめての場所ということで、喜んでいただきました。

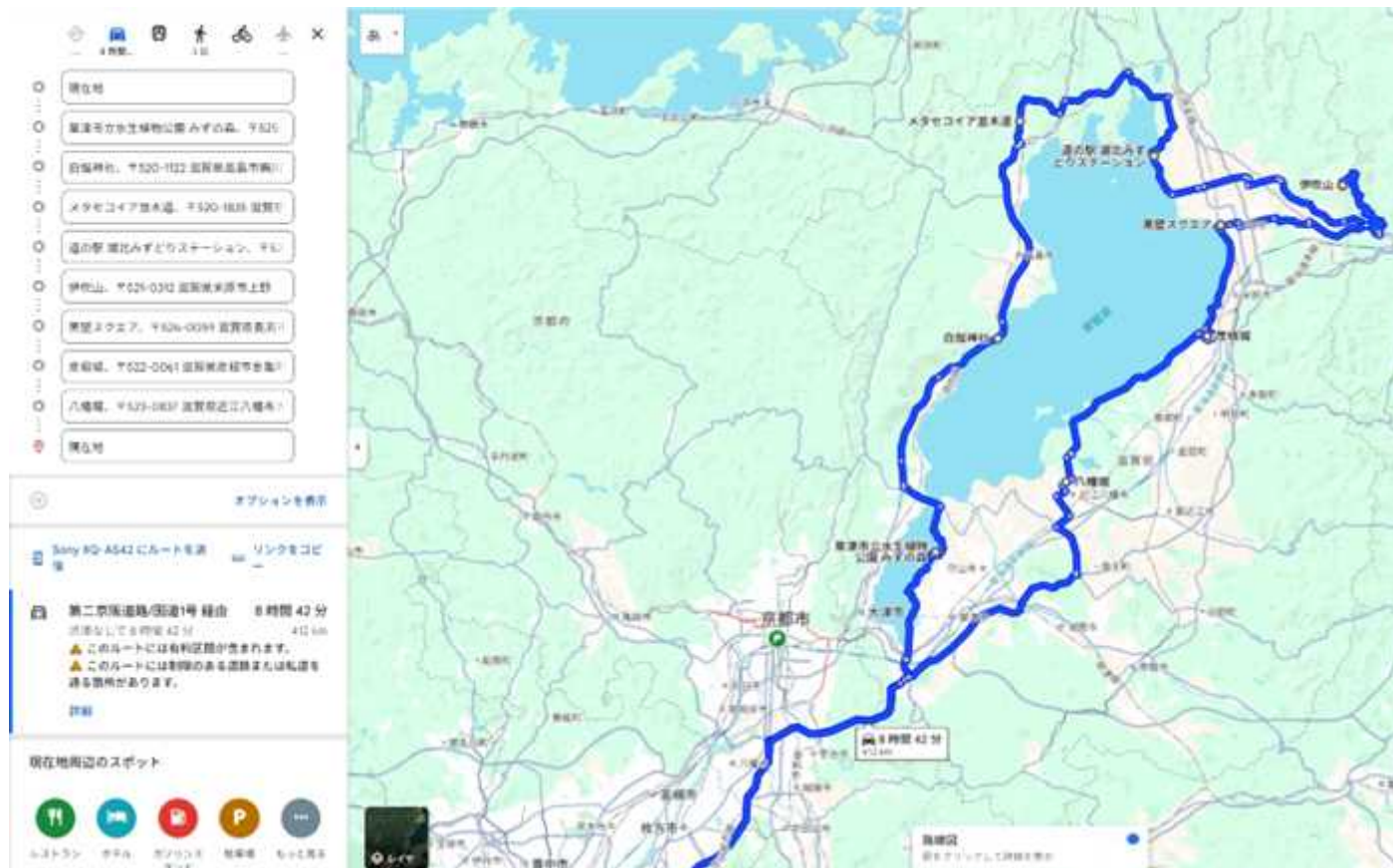
箱館山ゴンドラに変更したのは、事前のWEB情報で、週末の伊吹山ドライブウェイが、混み合って通行制限がかけられていることを知ったので、昔この時季にユリ園をスキー場が開園したことを思い出して前日に調べて、まったく違う形で春から秋にかけて楽しめるようにしていることを見つけこれはきっと楽しんでもらえると思い旅程を変更。

大当たりでした。超おすすめスポットです。また、2 日目の朝に伊吹山に行くことで前日ガスと雲で見えなかった風景を堪能することが出来たことも上手くはまりました。

そして、年配の方が楽しめるかどうか不安だった、旧豊郷小学校校舎。ここは歴史的建造物としての価値とアニメ「けいおん！」の学校デザインとして使われた聖地。結果的には、見学に来ていたコスプレイヤーに声をかけて記念写真を撮影するという、前来未聞の出来事でにをいがけの原点みたいになりました。



今回移動に使ったのは、トヨタヤリス。感想として狭い。もしかすると、ワゴンRよりも空間として感じるのは狭い圧迫感がある。特に後席の足下は昔ながらの狭さだったのには驚きました。如何にいまの軽自動車が上手く空間を作っているかがわかりました。



少人数の場合は、キッチンと事前に計画を立てた上で、余裕を持たせておき現地でそのときの情報を元に臨機応変に対応することが改めて重要だと感じました。

最近では旅行雑誌ではなくグーグルの地図で時間と距離、観光地の情報まで知ることが出来るので、紙とペンで計画するよりも組み立て直すのがたやすくなって、ホント面白いんですよね。この計画立案の時に、考えて想像したことより実際に旅に出てそれ以上だったり、トラブルがあったりすることも大きな楽しみです。



るので、紙とペンで計画するよりも組み立て直すのがたやすくなって、ホント面白いんですよね。この計画立案の時に、考えて想像したことより実際に旅に出てそれ以上だったり、トラブルがあったりすることも大きな楽しみです。さて3年後は誰とどんな旅行になるのだろう。楽しみです。